



TALKBACK INTERFACE

———— **TB-31** ————

INSTRUCTION MANUAL

この度はアドギア製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

ご使用前に、必ずお読みください。



安全にご使用頂くため、次の事を必ずお守りください。

## 1. 設置に関して

### 1-1. 設置環境



- 引火性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。スイッチ等の操作で火花が飛んで火災が起こる危険性があります。
- また、腐食性の気体あるいは液体のそばには設置しないでください。腐食により、絶縁不良を起こし、機器の故障や火災の原因になります。
- その他仕様で定められた環境に於てご使用ください。

### 1-2. ラックマウント



- ラックマウントする時は、特別の規定が無い限り 5mm の ISO ネジを使用し、それに合ったドライバーを使用して取り付けてください。5kg を越える機器を取り付ける場合は二人で作業し、一人はラック後面から機器を支えてください。
- 4本の取り付けネジはラックイヤーの下側のネジから取り付けてください。それ以外の方法で取り付けると、怪我をする場合があります。

### 1-3. 供給電源電圧の確認



- 日本国内向けのアドギア製品の供給電源電圧は特別の仕様でない限り AC100V ± 10 % となっています。これ以外の電圧が加えられますと正常に動作しないばかりか、機器の故障あるいは火災の危険があります。
- 必ず規定の電圧を供給してください。
- DC 電源仕様機器の場合は規定の直流電源を正しい極性で供給してください。
- DC 電源仕様の機器に AC (交流) 電源を供給すると機器の故障や火災の原因になりますので絶対にこの様な事はしないでください。

### 1-4. 電源供給



- 電源プラグをコンセントに差し込む時は本体の電源スイッチが OFF になっている事を確認してから差し込んでください。電源スイッチが ON になったまま電源プラグを差し込むと、操作スイッチやポリウムの設定によっては接続されている機器の故障を招いたり予期せぬ動作により怪我あるいは死亡事故の原因になる危険性があります。

### 1-5. 機器カバーを外して内部の設定をする時

- 内部にある設定スイッチを操作する等、機器カバーを外さなければならなくなった時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

○電源プラグを差したまま作業をすると、機器故障の原因になるばかりでなく感電等で火傷を負ったり電気ショックにより死亡する危険性もあります。

また、内部のコンデンサーに電荷が残っている場合がありますので電源 OFF 直後にこの様な作業は行わないでください。

## 2. 運用中の安全確認



### 2-1. 電源プラグの清掃

- 電源プラグ付近に埃が溜まるとその埃が湿気を吸って短絡し、火災の原因になる恐れがあります。定期的に点検清掃を行ってください。点検間隔は設置環境によります。

## 3. 保守における安全確保



### 3-1.

[1. 設置に際して] の注意がそのまま適応されます。



### 3-2. その他

- 機器をラックから取り外す時は電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。また、ラックマウントねじを外す順番は、上のねじから先に外してください。5Kg を越える機器は二人で作業し、必ず一人は機器を支えてください。

# CONTENTS

---

GENERAL.....	3
SPECIAL FEATURE.....	3
OPERATION.....	4
【FRONT PANEL】.....	4
【REAR PANEL】.....	5
【PIN ASSIGNMENT】.....	7
TECHNICAL SPECIFICATIONS.....	8
BLOCK DIAGRAM.....	9
【システムの調整方法】.....	9
APPEARANCE.....	10

## GENERAL

---

TB-31 は TB-3A を 2 台まで接続できるトークバックインターフェイスです。カフボックスや CUE ボックスのヘッドホン系にトークバック信号をミックスする TB HP、スタジオスピーカーにトークバック信号をミックスする TB SP、さらに単独でトークバック信号を出力する EXT TB の 3 系統を装備しています。

また、トークバックと連動して動作するパッシブアッテネーターは、外部 DIM 制御を持たないコントロールルームモニターでの使用を可能にします。

TB-3A と TB-31 を組み合わせることで、ご使用中の設備に簡単にトークバック機能を追加することができます。

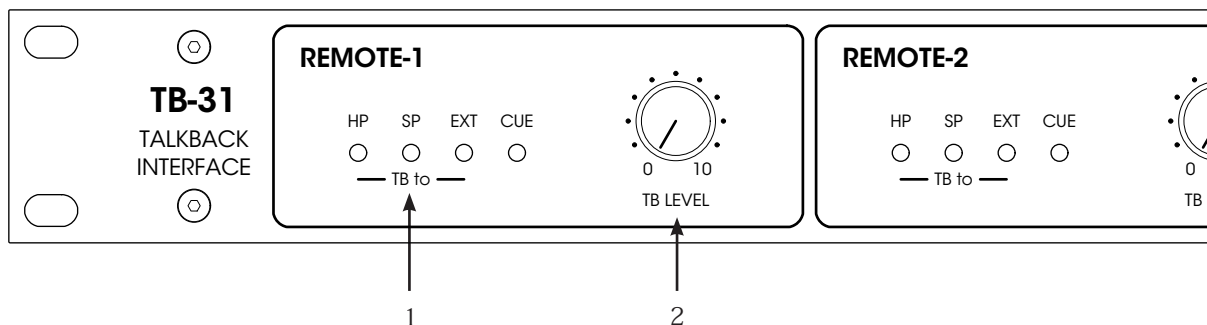
## SPECIAL FEATURE

---

- TB-3A トークバックリモートを 2 台まで接続可能
- ヘッドホン、スタジオスピーカーへのトークバックに加え単独の EXT TB
- コントロールルームのモニター DIM を可能にするパッシブアッテネーター
- 単独のトークバックスピーカーや CUE 送りに使える EXT TB

# OPERATION

## 【FRONT PANEL】



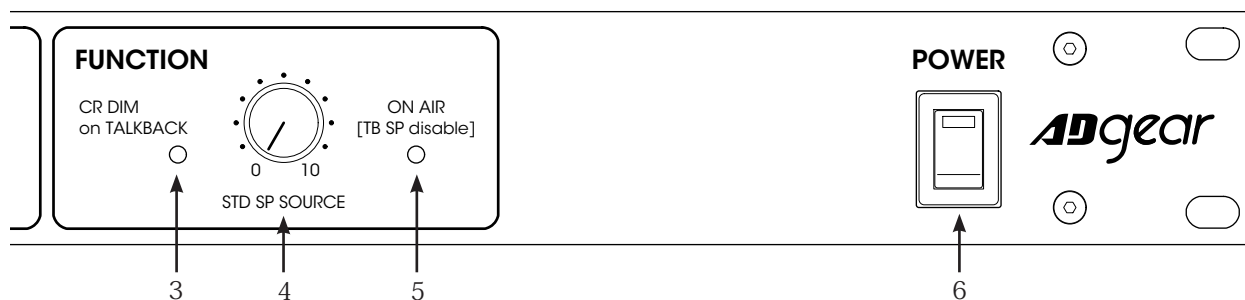
### 1. ステータス表示 (REMOTE-1、2 共通)

「TB to」はトークバック信号の出力先を表示します。HPはヘッドホン、SPはスタジオスピーカー、EXTは単独出力を表します。

「CUE」はTB-3AからCUEランプ制御を受けた場合に点灯します。

### 2. TB LEVEL (REMOTE-1、2 共通)

TB-3Aから出力されたマイクレベルを設定します。



### 3. CR DIM on TALKBACK

CRモニターのDIMを行うパッシブアッテネーターが動作する際に点灯します。

CRモニターの信号をパッシブアッテネーターに通すことにより、トークバック中は20dBの減衰が得られます。

### 4. STD SP SOURCE

スタジオスピーカーに送る音源の音量を設定します。トークバック信号は変化しません。

### 5. ON AIR [TB SP disable]

背面のCOMMANDコネクターからON AIR制御を受けた場合に点灯します。

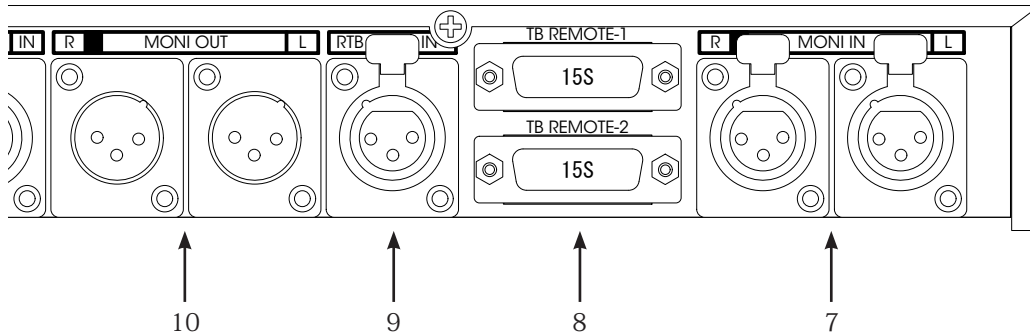
ON AIR制御中はスタジオスピーカーへのトークバックは禁止されます。

### 6. POWER

TB-31の電源スイッチです。

# OPERATION

## 【REAR PANEL】



### 7.MONI IN

ヘッドホンの音源を入力します。この信号にトークバック信号が MIX され後述の MONI OUT から出力されます。トークバック中、この信号は 20dB 減衰します。

### 8.REMOTE-1、REMOTE-2

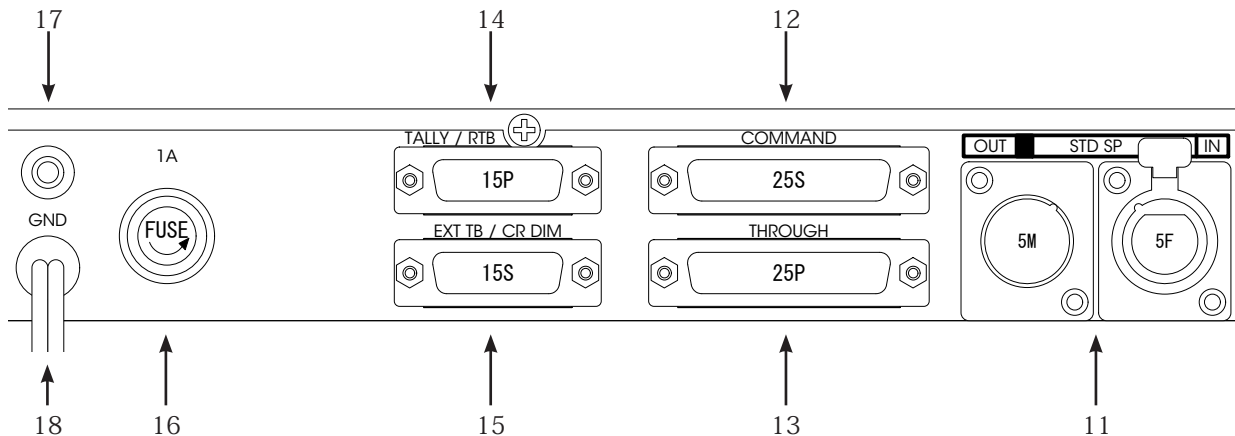
TB-3A を 2 台まで接続できます。

### 9.RTB IN

リターントークバックの信号を入力します。この信号は MONI IN の信号とミックスされ、後述の MONI OUT から出力されます。この端子は後述の TALLY / RTB コネクタに直結されています。

### 10.MONI OUT

ヘッドホンに送る信号を出力します。



### 11.STD SP IN/OUT

スタジオスピーカーの音源を入力します。この信号にトークバック信号が MIX され STD SP OUT から出力されます。トークバック中、この信号は 20dB 減衰します。

### 12.COMMAND

ADgear アナウンスコントローラーと互換の制御入力です。CUE 制御は本機に接続した TB-3A の CUE 制御信号とマージされます。ON AIR 制御は TB SP を禁止するために本機に取り込みます。全ての制御はフォトカプラーを經由して後述の THROUGH コネクタに出力されます。

# OPERATION

---

## 13.THROUGH

ADgear アナウンスコントローラーの COMMAND コネクターに対応した制御出力です。受け側のフォトカプラーの電源として本機の 5V を出力しています。

## 14,TALLY / RTB

TALLY はトークバック中にタリーをリレーによるドライ接点で 2 回路出力します。  
RTB は前述の RTB IN と直結されており、小型スピーカー等への接続が可能です。

## 15,EXT TB / CR DIM

EXT TB は単独のトークバック出力です。

CR DIM はトークバック中に動作するパッシブアッテネーターの入出力で、動作時に 20dB の減衰が得られる回路を 2 系統装備しています。

## 16.FUSE

1A の管ヒューズを使用して下さい。

## 17.FG

フレームグラウンド端子です。

## 18.AC100V

本機の AC 入力です。

AC100V 50/60Hz で使用して下さい。

【PIN ASSIGNMENT】

TB REMOTE-1  
TB REMOTE-2  
D サブコネクタース 15ピン M2.6 ネジ

ピン番号	信号	記事
1	MIC +	
9	MIC -	
2	GND	
10	TB SW	TBスイッチ入力
3	CUE SW	CUEランプスイッチ入力
11	GND	
4	MONI L	
12	MONI R	
5	GND	
13	EXT TB	EXT TBスイッチ入力
6	N.C	
14	GND	
7	+24V	TB-3A駆動用電源
15	GND	
8	GND	

TALLY / RTB  
D サブコネクタース 15ピン M2.6 ネジ

ピン番号	信号	記事
1	GND	
9	GND	
2	TB TALLY 1	リレー接点 1
10	TB TALLY 1	
3	TB TALLY 2	リレー接点 2
11	TB TALLY 2	
4	N.C	
12	N.C	
5	N.C	
13	N.C	
6	N.C	
14	N.C	
7	RTB THRU +	RTB INと直結
15	RTB THRU -	
8	FG	

STD SP IN  
STD SP OUT

ピン番号	信号	記事
1	GND	
2	L +	
3	L -	
4	R +	
5	R -	

EXT TB / CR DIM  
D サブコネクタース 15ピン M2.6 ネジ

ピン番号	信号	記事
1	EXT TB +	-20dBパッシブアッテネーター
9	EXT TB -	
2	GND	
10	CR IN L +	
3	CR IN L -	
11	FG	
4	CR IN R +	
12	CR IN R -	
5	FG	
13	CR OUT L +	
6	CR OUT L -	
14	FG	
7	CR OUT R +	
15	CR OUT R -	
8	FG	

COMMAND  
D サブコネクタース 25ピン M2.6 ネジ

ピン番号	信号	記事
1	GND	
14	GND	
2	PC.COM(A)	フォトカプラーコモン(アノード端子)
15	THRU-A	フォトカプラー カソード端子
3	THRU-B	
16	STAND BY	
4	ON AIR	
17	CUE	フォトカプラー駆動用電源
5	+5V	
18	+5V	
6	+24V	
19	+24V	THROUGH コネクタースに直結
7	THRU	
20	THRU	
8	THRU	
21	THRU	
9	THRU	
22	THRU	
10	THRU	
23	THRU	
11	THRU	
24	THRU	
12	THRU	
25	THRU	
13	THRU	

THROUGH(ADgear ABシリーズ専用)  
D サブコネクタース 25ピン M2.6 ネジ

ピン番号	信号	記事
1	GND	
14	GND	
2	+5V	フォトカプラー駆動用電源
15	THRU-A	オープンコレクター出力
3	THRU-B	
16	STAND BY	
4	ON AIR	
17	CUE	
5	N.C	
18	N.C	
6	N.C	
19	N.C	
7	THRU	COMMAND コネクタースに直結
20	THRU	
8	THRU	
21	THRU	
9	THRU	
22	THRU	
10	THRU	
23	THRU	
11	THRU	
24	THRU	
12	THRU	
25	THRU	
13	THRU	

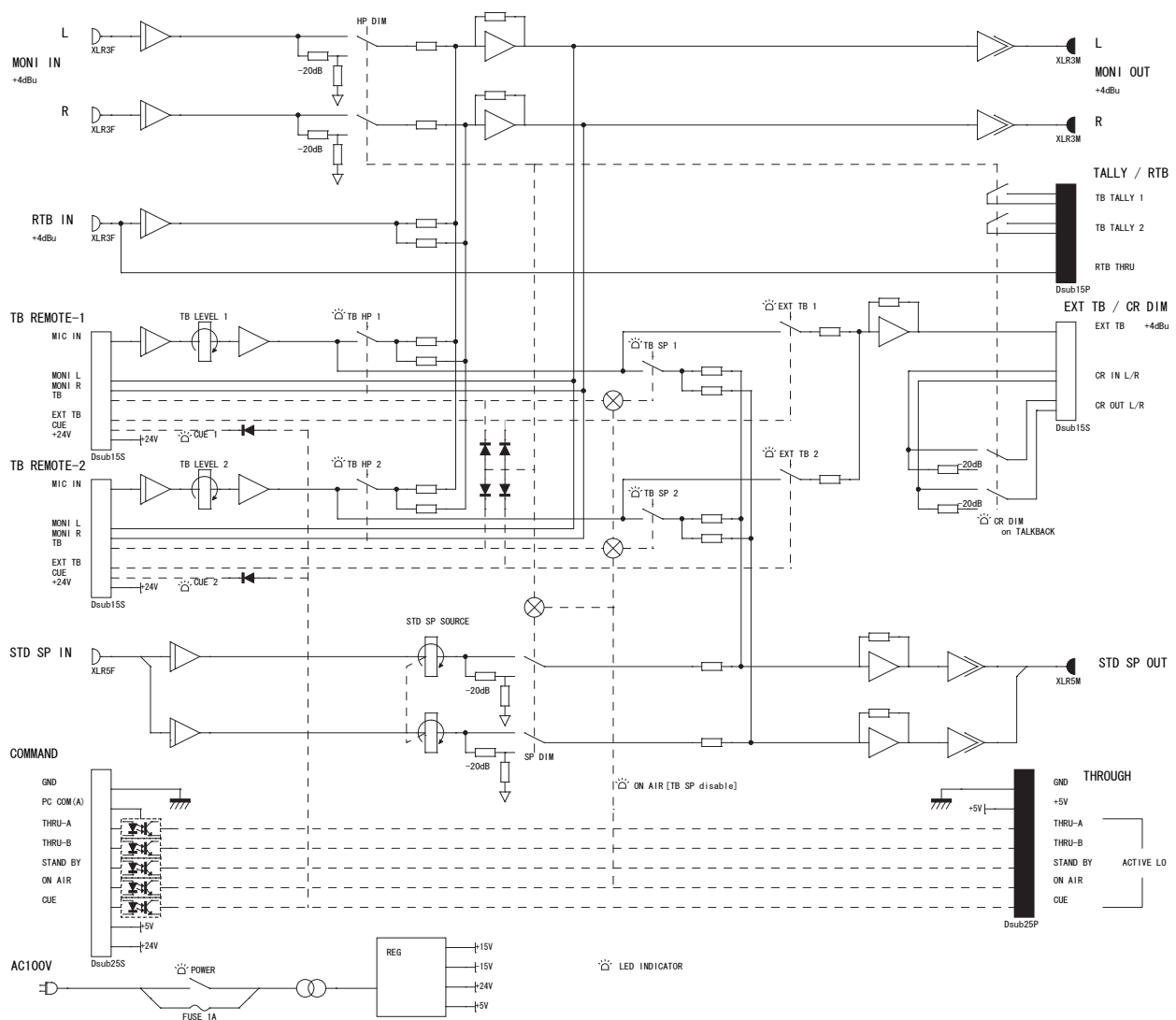
# TECHNICAL SPECIFICATIONS

---

- ◆ MONI INPUT           XLR-3-31 タイプ +4dBu  
電子バランス  $Z_{in} \cong 10k \Omega$   
最大入力レベル = +26dBu
  
- ◆ RTB IN                XLR-3-31 タイプ +4dBu  
電子バランス  $Z_{in} \cong 40k \Omega$
  
- ◆ MONI OUT            XLR-3-32 タイプ +4dBu  
電子バランス  $Z_{out} \cong 100 \Omega$   
最大出力レベル = +26dBu@10k  $\Omega$  負荷
  
- ◆ STD SP IN            XLR-5-31 タイプ +4dBu  
電子バランス  $Z_{in} \cong 10k \Omega$   
最大入力レベル = +26dBu
  
- ◆ STD SP OUT           XLR-5-32 タイプ +4dBu  
電子バランス  $Z_{out} \cong 100 \Omega$   
最大出力レベル = +26dBu@10k  $\Omega$  負荷
  
- ◆ COMMAND            フォトカプラー入力 アノードコモン  
DC5 ~ 24V 電流制限 = 2mA  
ADgear アナウンスコントローラー互換
  
- ◆ THROUGH            ADgear アナウンスコントローラー対応制御出力
  
- ◆ TB TALLY             リレーによるドライ接点出力 2 系統
  
- ◆ EXT TB               アンバランス +4dBu  $Z_{out} \cong 100 \Omega$
  
- ◆ CR DIM               パッシブタイプ  $Z_{in} \cong 10k \Omega$   
減衰量 = 20dB
  
- ◆ サイズ / 重量        482(W) × 44(H) × 250(D) / 4kg
  
- ◆ 電源                  AC100V 50/60Hz 20VA
  
- ◆ 特性                  モニター系統およびスタジオスピーカー系共に  
周波数特性        +0、-0.5dB 20Hz ~ 20kHz  
歪率特性           0.02%以下  
信号対雑音比      90dB 以上 (22Hz ~ 22kHz BPF 使用)



# BLOCK DIAGRAM

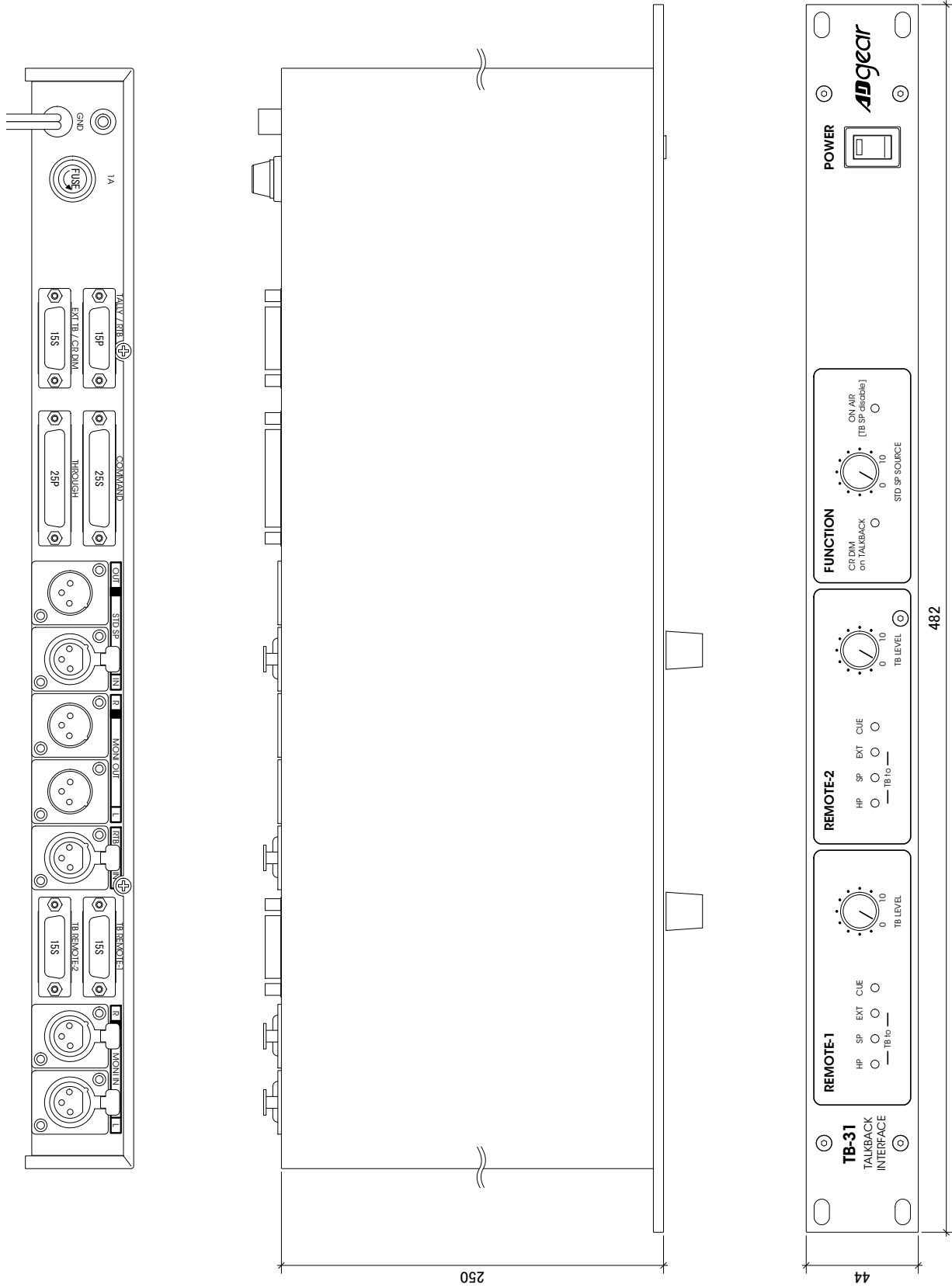


## 【システムの調整方法】

ADgear トークバックシステムを最適なレベルダイヤでお使い頂くため、下記の手順でのシステム調整を推奨します。

- ① MONI IN と STD SP IN に音源を繋ぎます。
- ② TB-3A のヘッドホンを聴きながら TB ボタンを押し、音源とトークバックのバランスが最適になるよう「TB LEVEL」を調整して下さい。
- ③ TB-3A の TB ボタンを押し、スタジオスピーカーからのトークバックの音量が最適になるようスタジオスピーカーのレベルを調整して下さい。  
(※パワードスピーカーの場合は背面の音量トリム、パッシブスピーカーの場合はパワーアンプのボリュームを調整して下さい。)
- ④ TB-3A の TB ボタンを放し、通常の状態です튜디오スピーカーが適切な音量になるよう、「STD SP SOURCE」を調整して下さい。

# APPEARANCE



## 製品の保証について

この度は、アイコニック製品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。

当社製品は下記の通り保証・サービスをさせていただきます。

御購入後1年間を保証期間とし、この期間中に正常な御使用状態で故障した場合は、無償で修理致します。

製品が故障して修理をお申し付けの場合は、故障前後の御使用状況を詳細にお知らせくださる様、お願い致します。

無償修理は、原則として機器をお持込みによるものと致します。運送業者に依頼される場合は、荷造り等に充分御注意下さる様お願い致します。この時、保険を掛ける事をお奨め致します。輸送中の事故は保証範囲に含まれません。

遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する費用を別途お申し受け致します。

保証期間後も、サービスは有償となりますが、引続きアイコニックが責任を持ってサービスさせていただきます。

### ▼お問い合わせ▼

株式会社アイコニック

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 1-15-7

Tel.042-579-0520 Fax.042-579-0529

